

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCO			
○保護者評価実施期間	2024年6月1日 ～ 2024年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2024年6月1日 ～ 2024年6月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に対して適切な助言が行われている。 また、保護者へ情報提供や意思疎通が柔軟に行われている。	ノートを通じての日々のやり取りを行っている。 送迎の際の職員の配置を考慮している。 会報を通して活動の様子を伝えている。 必要に応じてLINEでの情報共有をしている。	LINEでのやり取りの範囲を広げていきたい。 保護者の参観できる機会を提供する。
2	活動プログラムを固定化せず、その日の利用児童に合わせて有効な支援となる活動を行っている。	職員全員に活動当番を設け、また活動プランシートを作成することで安全に、その日の児童に合わせた活動を提供している。	活動のねらい（支援のねらい）をより5領域に沿ったものを加味して提供をしていく。
3	契約時や面談時に利用について適切に説明をしている。	保護者にとってわかりやすく、文書による説明を心がけている。また、短い時間で、的確にお伝えすることを心がけている。	ガイドラインの改定に伴う追加の説明事項（職員体制、支援プログラム）を丁寧に行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会、保護者会の開催が行われていない。	保護者からの会の開催について希望が無く、面談や個別の連絡対応で十分と声をいただいていたため、開催を行っていなかった。	運動会などのイベント時に参観会をおこなったことがあるので、より参観出来る場を設けたり周知することで、連携を取ってきたい。
2	緊急時のマニュアルなど、保護者へ通知が不十分である。	移転時や契約時以外に説明をする機会が無い。 どの程度詳細まで説明を行うことが望ましいか、難しい。	避難訓練を実施した際に、改めて避難経路などを通知する。
3	障害のない児童との交流機会がない。	利用児童の支援をすることだけでも人手が不十分であるため、交流などのイベントを設定する機会が無い。	少しずつ地域の児童クラブとの交流を始めていく。